

# やなせたかし記念館 NEWS



vol.89

*T. Yanase*

# やなせたかし記念館 NEWS

vol.89

## Contents

- 03 仮装して楽しもう！やなせたかしソング  
演奏自慢コンテスト 2020  
ポストカードプレゼント  
第2回やなせたかし文化賞発表延期のお知らせ  
フリーパス配布のお知らせ

---

- 04 公募作品展 第22回 OURギャラリー展  
2020年11月14日(土)～2021年1月11日(月・祝)

---

- 06 「ひきだしのなかの名作」展  
前期 2020年12月19日(土)～2021年3月21日(日)  
後期 2021年4月17日(土)～7月11日(日)

---

- 08 秋の企画展 「アンパンマンとゆめのくに」  
冬の企画展 「アンパンマンとびいだまん」  
未来の巨匠展 vol.17

---

- 09 終了行事報告

---

- 10 Let you know

---

- 11 学芸レポート  
やなせたかしと世界の名作 学芸員 奥野雅子

## 夕焼けの 旗ひらめいて うみく 海昏れる



表詩記 やなせたかし

ぼくは対岸の灯というのが好きだ。遠くから見る光は美しくて幻想的だ。でもそこへ行ってみれば、やはり人間の社会があり、愛憎渦巻いて、欲もあれば悪も犯罪もある。

人生に希望を失なって落伍していくホームレスもいるし、ゴキブリやどぶ鼠もいる。

けれども遠望する限り、すべての醜悪と汚泥は闇にまぎれて光り輝やくシャングリラになる。もしも UFO が実在するならばこの美しい夜景には眩惑されるにちがいない。

そして夕焼けが終わって夜がはじまるひととき、夕焼けの残像が夜空に記憶を残しながら闇が濃くなっていくのを描きたいと思ったんですね。無理を承知で夕焼けの旗なんて気取ってみたがやはり無理だったかな？

月刊『詩とメルヘン』  
2002年(平成14年)12月号表詩記より

2021年1月5日締め切り！

## 仮装して楽しもう！やなせたかしソング 演奏自慢コンテスト 2020

漫画家やなせたかしの生前からのアイデアであった、やなせたかしが作詞、作曲を手掛けた楽曲を、仮装をして、歌を歌う、楽器を演奏するコンテストをオンラインで開催します。

くわしくは特設ページをご覧ください。

[https://anpanman-museum.net/entry\\_rule](https://anpanman-museum.net/entry_rule)



## ポストカードプレゼント

12月16日からアンパンマンミュージアムにご来館いただいた方、毎日先着50名様にアンパンマンのオリジナル・クリスマスカード(非売品)をプレゼントします。また元旦からはオリジナル・年賀状(非売品)をプレゼントします。(※なくなり次第終了します。)



## 第2回やなせたかし文化賞 発表延期のお知らせ

2021年2月6日に予定しておりました「第2回やなせたかし文化賞」受賞者発表は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響のため、選定委員会の決議において1年間の延期を決定いたしました。

受賞者の発表は、2022年2月6日を予定しています。何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。

やなせたかし文化賞の情報は随時、やなせたかし文化賞公式サイト

(<https://www.yanase-award.net>) でお知らせいたします。



## フリーパス配布のお知らせ

香美市在住、または在学の3才から15才までの子どもたちに、「香美市立やなせたかし記念館年間6回フリーパス」を配布しています。2020年度のフリーパスの有効期限は2021年3月31日までです。展示会や常設展でご利用ください。

# 公募作品展 第22回 OUR ギャラリー展

●会期 2020年11月14日(土)～2021年1月11日(月・祝)  
 ●会場 香美市立やなせたかし記念館・別館

《テーマ》  
**つなぐ**  
 (つながる・つなげる)

詩やイラストをかくよこびと、作品を発表するよこびを、多くの方に楽しんでもらおうとスタートした公募作品展「OURギャラリー展」。22回目を迎えた今回は、つなぐ(つながる・つなげる)をテーマにした5・7・5調の詩とイラストを描いたハガキサイズの作品を募集しました。

全国各地の、1歳から84歳まで幅広い世代の方が、創意工夫にあふれた作品をお寄せくださり、計438点が集まりました。そして、雨宮尚子さん、くさか里樹さん、おかもとあつしさんの3名の審査員による厳正な審査が行われ、大賞1点、OURギャラリー賞5点の受賞作品が決定しました。各受賞作品を審査員のコメントとともに紹介します。

## 大賞



まえだ まゆこ  
**前田 真由子**さん (大阪府 39才)

遠くふるさとの空までつながっていく夕焼けの、くっきりとした力強い配色が印象的です。文字が青から赤へ染まることで時間の流れが見える気がしました。(雨宮)

一時停止の道路標識は、コロナ禍の窮屈な制限生活。夕焼けはふるさとの帰れぬ寂しさ。ネガティブな気持ちもきちんと描きつつ、大空に思いを広げる強さを感じました。空は世界とつながっています。こちらで日が沈めばあちらで日が昇る。みんなで乗り越えよう、という大きなメッセージを感じました。(くさか)

どんなに離れていても、ふるさとは同じ空の下、いつも一つにつながっています。作者も、いつも空をあおぎ見て、ふるさとからのエネルギーももらっているのかもしれない。詩の文字まで染めちゃう、美しいあかね空に感激しました。(おかもと)

## 審査を終えて

■今年もたくさんの作品をありがとうございました。世代や表現方法・テーマの捉え方もそれぞれのバラエティ豊かな作品を前に、審査はときに笑いにときに考えさせられたりしながら、時間をかけてじっくり行われました。詩と絵が互いのよいところを引き立てあい、世界が大きくふくらんで行くところがこの公募展の魅力だな～とあらためて感じました。雨宮尚子(イラストレーター)

■いつもながら個性豊かな作品たちに心の底から癒されました。コロナ禍の言いようのないダメージの中であって、絵の力、言葉の力を改めて感じました。くさか里樹(漫画家)

■今年も新型コロナウイルスの感染拡大によって、世界中が大変な状況に陥っています。つながっていくことが困難な中、つながることの大切さが見直され、人々は新しいつながり方を見つけてきました。人間の英知が発揮された年でもあります。そんな中、今回のOURギャラリー賞には、438点もの『つなぐ・つなげる・つなげる』のテーマ作品のご応募をいただきました。私たち審査員も、たくさんの方々につながっていることを実感した審査になりました。どうかこれからも、皆さんとのつながりを大切に、さらに多くの皆さんとつながる親しみやすい公募展でありますように願っています。おかもとあつし(漫画家・紙芝居作家)

★観覧者投票、実施中  
 各受賞作品以外の全作品を対象にした観覧者投票を行っています。観覧者お一人につき5票までお好きな作品に投票をしていただき、最も多く得票があった作品には記念品を進呈いたします。

## OUR ギャラリー賞



いのうえ かずみ  
**井上 和美**さん  
 (福島県 36歳)

実際には、手をつないでいないのに、影が手をつないでいるというメルヘンチックな作品。これは、コロナ禍の時代にあってこそ生まれた作品なのかな?と思いました。(おかもと)

「てとてとて」という言葉の響きが可愛らしい。この3人が大人になっても忘れない思い出になりそうな、素敵瞬間ですね。主題の影を下半分以上使って描けば、心にどんと残る作品になるような気がしました。(くさか)



おかもと まさあき  
**岡本 正明**さん  
 (埼玉県 64歳)

コロナ禍が、おじいちゃんおばあちゃんとパソコンというハイテク機器をつないだんですね。家族とつながる喜びはもちろん、いくつになっても初挑戦をし続けるってすごいです。(くさか)

今年はコロナ禍で残念ながら帰省が困難な状況です。そんな中、リモート帰省をポジティブに楽しむイラストが光りました。みんなの笑顔がいいですね!(雨宮)



すぎもと けんいち  
**杉本 憲一**さん  
 (東京都 42歳)

赤ちゃんにニコッとほほえまれたら思わず笑顔になってしまう。でもこの赤ちゃん、何とも言えない不思議なインパクトがあります。でもやっぱり笑ってくれたらつられちゃう! 構図もバツグンでした。(雨宮)

顔面の迫力に圧倒されました。すぐには赤ちゃんだとわからなくて(笑)。わかって大納得です。無機質なエレベーターの中という場面設定が赤ちゃんの癒し力を際立たせています。(くさか)



すぎやま ゆき  
**杉山 しげ行**さん  
 (新潟県 62歳)

丹念に書き込まれた陰影とやや固めの文体が相乗効果となって、日常のひとコマが一気にドラマチックに! 描き手の方の器用さと粘り強さに感服しました。(雨宮)

うちの長男もブロックが好きで、もくもくといろいろなものを作っていたことを思い出しました。この作品の作者は何代目にあたるのでしょうか?細かい線で丁寧に描かれた作品が、四代目の関係が深いことを物語っています。(おかもと)



まえだ ひとみ  
**前田 瞳**さん  
 (佐賀県 73歳)

地域のお祭りが題材の作品。日本の伝統文化が今に残っているのは、まさに地域のつなぐ力、つながる力のおかげだと思います。少子高齢化の時代にあっても、ご苦労も多いことだと思いますが、今後ともどうかつないでいてもらいたいと思いました。(おかもと)

絵のタッチや文字が味わい深く、色合いもとてもきれいだと思います。「今も昔も」が長い時のつながりを想起させ、さらに未来への希望も感じました。(雨宮)

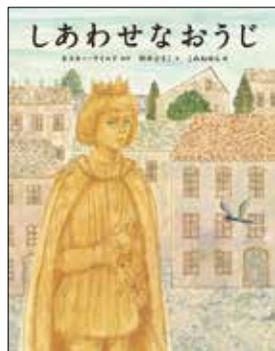
★受賞作品の講評の全文は当館Webサイトでお読みいただけます。  
<https://anpanman-museum.net/exhibition/2020>

「ひきだしのなかの名作」は昭和女子大学名誉教授・西本鶏介さん監修のもと、世界の名作より 12 の物語が厳選され、2016 年から 2019 年にかけてフレーベル館から刊行されました。大人にとってはなじみのあるお話も、原典に忠実な再話文とイメージ豊かな絵によって、新鮮な気持ちで楽しむことができる絵本シリーズです。

本展覧会では『マッチウりのしょうじょ』『しあわせなおうじ』『はだかのおうさま』『シンデレラ』など、様々なお話の絵本原画を前期・後期に分け、一堂にご紹介します。

## 「ひきだしのなかの名作」展 前期

- 会期 2020年12月19日(土)～2021年3月21日(日)
- 会場 詩とメルヘン絵本館



『しあわせなおうじ』  
オスカー・ワイルド原作  
文/間所ひさこ 絵/こみねゆら



『あかずきん』  
グリム童話より  
文/こわせ・たまま 絵/植田真



『ヘンゼルとグレーテル』  
グリム童話より  
文/小森香折 絵/吉田尚令



『12つのおくりもの』  
スロバキア民話より  
文/石井睦美 絵/メグホソキ



『ながぐつをはいたねこ』  
シャルル・ペロー原作  
文/いとうみく 絵/竹内通雅



『マッチウりのしょうじょ』  
アンデルセン童話より  
文/やなぎや・けいこ 絵/町田尚子



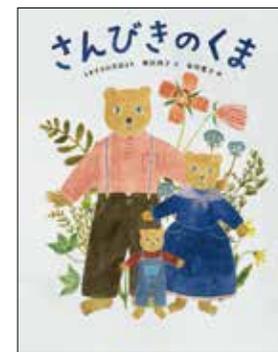
『はだかのおうさま』  
アンデルセン童話より  
文/立原えりか 絵/たなか鮎子



『オズのまほうつかい』  
フランク・ボーム原作  
文/木坂涼 絵/朝倉めぐみ



『シンデレラ』  
シャルル・ペロー原作  
文/石津ひろ 絵/宇野亞喜良



『さんびきのくま』  
イギリスの昔話より  
文/神沢利子 絵/布川愛子



『おおかみとしちひきのこやぎ』  
グリム童話より  
文/末吉暁子 絵/猫野べすか



『ジャックとまめのき』  
イギリスの昔話より  
文/早野美智代 絵/高島那生

## 展覧会 オリジナルグッズ

展覧会でしか買えない限定グッズを取り扱います。この機会をお見逃しなく!

※前期、後期の両方で販売します。売り切れの場合もあります。このほかにも多数のグッズをご用意しています。

※価格はすべて税込み。 ※各種クレジットカード、商品券、地域共通クーポンがお使いいただけます。詳細はスタッフにお尋ねください。



トートバッグ1,980円

2wayトートバッグ(サコッシュ)1,650円

A4クリアファイル  
440円



マスキングテープ550円

トランプ1,320円

ハンカチ550円



ポストカード110円

樹脂マグネット550円

## 企画展示室 秋の企画展

### 「アンパンマンとゆめのくに」

- 会期 開催中～2021年1月11日(月)
- 会場 アンパンマンミュージアム 4F企画展示室

4階企画展示室では1年間にわたり、展示作品を変えながら、「アンパンマンのおはなしでこい」シリーズの絵本原画の世界を紹介しています。秋の企画展では、『アンパンマンとゆめのくに』（フレーベル館、1995年）の絵本原画とラフ画を初公開しています。



## 企画展示室 冬の企画展

### 「アンパンマンとびいだまん」

- 会期 2021年1月13日(水)～4月12日(月)
- 会場 アンパンマンミュージアム 4F企画展示室

冬の企画展では、「アンパンマンのおはなしでこい」シリーズより、『アンパンマンとびいだまん』（フレーベル館、1996年）の絵本原画を展示します。子どもの頃、弟とよくビー玉遊びをしたというやなせが、郷愁の思いを込めたキャラクター「びいだまん」が登場します。どんな活躍をするか、どうぞお楽しみに。



「アンパンマンとびいだまん」(フレーベル館、1996年)

## 地元の子どもたちの作品展 未来の巨匠展 vol.17

- 会期 2021年2月6日(土)～3月7日(日)
- 会場 別館 ●入館無料

香美市内の保育園、幼稚園、小学校に通う、3才から小学2年生を対象にした、地元子ども達の作品展です。子ども達が創作した、様々な作品を集め展示することで、地元子ども達の交流を図るとともに、子ども達の創作活動の一層の励みとなることを目的として、毎年開催しています。作品のテーマや素材は自由。のびのびとした感性で生み出される子ども達の作品は、見ただけで明るい気持ちになります。ぜひご覧ください。



昨年度開催された「未来の巨匠展 vol.16」の様子・作品



### 参加学校名

保育園・幼稚園 あけぼの保育園 大橋保育園 片地保育園 新改保育園 なかよし保育園 美良布保育園 土佐山田幼稚園 第二土佐山田幼稚園

小学校(低学年) 大橋小学校 大宮小学校 片地小学校 香長小学校 舟入小学校 山田小学校 山田特別支援学校小学部

## 終了行事報告

会場：別館

2020年10月10日(土)～11月3日(火・祝)

### JR四国アンパンマン列車20周年 楽しい！アンパンマン列車模型展

アンパンマン列車が四国を走り始めて20年になりました。それを記念して、JR 四国の協力をいただき、会場には土讃線アンパンマン列車（初代と最新型の2種類）、予讃線アンパンマン列車、瀬戸大橋アンパンマントロッコ、ゆうゆうアンパンマンカーの5つの模型が大集合。

また、土讃線の新型アンパンマン列車と、予讃線アンパンマン列車の車内の一部に設置されているアンパンマンシートも展示。来館者は、2種類の座席シートに座って撮影を楽しみました。

各日、先着30名のお子様には、アンパンマンの駅長指人形がプレゼントされました。



会場：詩とメルヘン絵本館

2020年9月2日(水)～12月14日(月)

### 秋のコレクション展「おむすびまん おばけきのこのくに」

今秋のコレクション展では、おむすびまんを主人公にした2冊の絵本、『おむすびまん6 おばけきのこのくに』（フレーベル館、キンダーおはなしえほん 1992年11月号）と、『おむすびまんたびにつき1 おそれだきのひみつ』（フレーベル館、1990年）の原画を展示しました。

絵本作品に加えて、会場ではやなせたかし編集の雑誌『詩とメルヘン』の秋にまつわる表紙原画、挿絵の原画なども紹介しました。おむすびまんの絵本を、読み聞かせながら鑑賞されている、親子連れのお客様の姿も見られました。



会場：アンパンマンミュージアム・詩とメルヘン絵本館

2020年10月31日(土)

### ハッピーハロウィーン！アンパンマンのマントを配布

ハロウィーンの仮装を楽しんでもらうため、1日限定でアンパンマンのマント（アメニティ版）をご来館のお子様に配布しました。

会場：別館

2020年11月22日(日)

### 公募作品展 第22回 OURギャラリー展 審査結果発表トークイベント

第22回OURギャラリー展の、応募作品全438点が展示されている別館にて、審査結果発表トークイベントを開催しました。審査員を務めたくさかり樹さん、おかもとあつしさん、雨宮尚子さん（リモート参加）が、総評と受賞作品それぞれの選評、そして作品作りのポイントについて語り、来場者は受賞作品を直に眺めながら、審査員の話に耳を傾けました。イベント終了後にはやなせうさぎから、来場者一人ひとりにハンカチがプレゼントされました。



## ■新刊

## ルドルフとノラねこブッチー

作／齊藤 洋 絵／杉浦 範茂 講談社（2020年6月）

年の瀬もせまったある日、今まで文字に興味を示したことが一度もなかったブッチーが、文字を習おうかなと言いだしました。同じ頃、どこかに引っ越しをしてしまったブッチーのものと飼い主を近所で見かけた犬のデビルから聞いたルドルフは……。『詩とメルヘン』でも活躍された、杉浦範茂さんの新刊です。

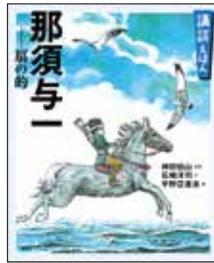


## ■新刊

## 講談えほん 那須与一 扇的

監／神田 伯山 文／石崎 洋司 絵／宇野 亞喜良 講談社（2020年10月）

「チケットの取れない講談師」神田伯山さんを監修に迎えた「講談えほん」シリーズ、待望の第2弾。「源平盛衰記」より屋島の戦いのエピソードです。「やなせたかし文化賞」の審査員も務めていただいている宇野亞喜良さんの絵が、講談の物語の世界を美しく描き出します。



## ■新刊

## 金子みすゞのひら詩集『あるとき』『ふうせん』

著（童謡）／金子 みすゞ 絵／黒井 健 発行：JULA出版局 発売：フレーベル館（2020年11月）

バッグにもポケットにもすっぽりおさまる、金子みすゞのかわいい詩集絵本です。

『あるとき』は「みんなを好きに」「世界中の王様」など、『ふうせん』は「このみち」「星とたんぼぼ」など、それぞれ15編を掲載。第9回サンリオ美術賞受賞者でもある黒井健さんの絵が、童謡に新しい光をそそぎます。



## ■「アンパンマンのぼうけん」パネル展 開催

1987年から1989年にかけて刊行された「アンパンマンのぼうけん」シリーズ（フレーベル館）の新装版が、現在刊行中です。復刊を記念して各地でパネル展が開催されています。

蔦屋書店 武雄市図書館（佐賀県武雄市）開催中～2021年1月31日（日）

喜久屋書店 倉敷店（岡山県倉敷市）2020年12月26日（土）～2021年1月30日（土）

正文館書店 知立八ツ田店（愛知県知立市）2020年12月30日（水）～2021年2月6日（土）など

## ■「アンパンマン列車20周年記念きっぷ」 発売

アンパンマン列車の20周年を記念して、JR四国から「アンパンマン列車20周年記念きっぷ」が発売中です。

高知駅～土佐山田駅間の特急列車自由席に乗車できる、4枚つづりのお得な回数券です。販売期間は2021年3月31日（水）まで、発売日から3か月間有効です。詳しくは「アンパンマン列車」公式サイトをご覧ください。

<https://www.jr-eki.com/aptrain/index.html>



## やなせたかしと世界の名作

香美市立やなせたかし記念館では2020年12月19日より「『ひきだしのなかの名作』展 前期」を開催している。『ひきだしのなかの名作』（2016～2019年、フレーベル館）収録の『ヘンゼルとグレーテル』や『シンデレラ』など世界の名作は、口承伝播も経て様々な翻訳や絵画表現などが繰り返されておられ、類話や異伝、そして超訳、パロディといったものも含め豊富なバリエーションが存在する。やなせたかしも、これらの物語を再解釈、発展させた創作を行っている。

やなせは落語家・桂枝雀<sup>1</sup>が落語を英語で口演することを知り、自身も自作のメルヘンを英語で話してみたいという気持ちになったという。まずはスタンダードな名作を英語で読む必要があると考え、英文のテキストを暗記できるまで読むことにした。<sup>2</sup>

まず（グリム兄弟の）『ヘンゼルとグレーテル』からはじめましたが、読みはじめたとたんにあまりの面白さに夢中になってしまいました。

子どもの時読んだとは全くちがう世界が目の前にひらけました。ボクはすべての話に感動しました。

『シンデレラ』も『白雪姫』もセピア色の霧のむこうから全くちがう姿で現われてきました。

そしてひとつの物語から、かならずいくつかのサイドストーリーが生まれました。<sup>3</sup>

例えば、『ヘンゼルとグレーテル』は子どもを森に棄てざるを得なかった義理の母の心情や社会的背景を創作し、お菓子の家に棲む魔女は『眠れる森の美女』に登場する13人目の仙女であるという独自の設定が施されている。

「このままでは一家は全滅しかありません。かわいそうだがヘンゼルとグレーテルを森へ棄てましょう。もしもあの子たちにゲルマンの不屈の魂があれば、何とか生きのびていけよう。森には水も木の実もあります。もし死ねばそれは神のおぼしめです」

実に乱暴な意見で継母というのは恐ろしいと思われるでしょうが、当時あっては子どもを森へ棄てることはもうしかたがない悲しい習慣であったのです。

…（中略）…

（年若い優しいお婆さんになった）十三人目の仙女は、魔女の汚名を着せられたまま死んだのですが、これも若い頃の悪業の報いなのかもしれません。前非を悔いた頃にはもう手おくれで、かわいそうだがそれが世の常です。<sup>4</sup>

やなせの創作メルヘンはやさしい語り口で独特のユーモアを交え書かれるが、単純なハッピーエンドを迎えないものも少なくない。「大部分のひとは自分の子ども時代に、ちゃんと大人の世界のことがわかっていてを思いだすはずです。（中略）愛の哀しみよるこび、美しいとかみにくいと、お金持ちとか貧乏とか、世の中の不公平さについて既によく知っています。」<sup>5</sup>というやなせの考え方と、不条理さを多分に含んだグリム兄弟やアンデルセンの作品は親和性が高いのだろう。やなせは物語のなかに含まれる陰や毒を意識、評価していた

『ヘンゼルとグレーテル』は釜の中でおばあさんを焼き殺す話です。（中略）…ひとひ話なのに面白い、これらの本には子どもが夢中になり絶対喜ぶ部分があります。面白くて読まれている本にはほとんどすべて毒があります。<sup>6</sup>

なお、桂枝雀が英語落語をはじめたのは1983年頃<sup>7</sup>で、1985年に「第1回桂枝雀英語落語独演会」（大阪）開催、1987年からほぼ毎年海外公演が行われた。枝雀の英語落語が一般的に認知されたのは1988年4月、高校の英語教科書に取り上げられてからといわれている。<sup>8</sup>月刊誌『食生活』（カザン）での連載「やなせメルヘン」に世界の名作パロディが発表されたのは1988年3月号の第177回「真説シンデレラ」からであり、同年から1989年にかけて集中的に掲載され、1997年にも数編がみられる。<sup>9</sup>そのため、やなせが英語での読書に取り組み始めたのは1983～1988年頃と考えられる。

また、やなせは『いちごえほん』（サンリオ）の「れんさいエッセー風の口笛」1978年11月号でアンデルセン、1978年12月号でグリム兄弟を取り上げており、アンデルセンの回では先年デンマーク旅行したという記述もある。1985年1月「漫画家の絵本の会」（日本橋丸善）ではグリム生誕200年を記念しグリム童話を描き、<sup>10</sup>2002年には「アンパンマンとアンデルセン展」（船橋市アンデルセン公園子ども美術館）を開催した。<sup>11</sup>やなせの世界の名作パロディは、幼年期の読書体験、アンデルセンやグリム兄弟らの作家・作品研究、英語での読書を経て、長期的かつ重層的な取り組みとなっていたといえよう。

（奥野雅子）



「真説ヘンゼルとグレーテル」挿絵（『やなせメルヘン 三枚劇場』1997年、近代文芸社、27頁）

【註】

- 2代目桂枝雀（かつら しじゃく）、1939年～1999年。上方落語家。
- 『もうひとつのアンパンマン物語』1995年、PHP研究所、203頁
- 前掲、註(2)204-205頁
- 『やなせメルヘン 三枚劇場』1997年、近代文芸社、25-28頁
- 前掲、註(2)67頁  
『やなせたかしの世界』2019年、やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団、134頁
- 前掲、註(2)78-79頁
- 上田文世『笑わせて笑わせて 桂枝雀』2003年、淡交社、121頁
- 戸田学『上方落語の戦後史』2014年、岩波書店、473-476頁
- やなせは『食生活』1973年4月号～2009年3月号にて、原稿用紙3枚分の全編独立したショートストーリー「やなせメルヘン」を連載（全428回）。2009年4月号～2010年1月号「やなせメルヘン名作集」では、編集部選定の過去作を再掲。世界の名作パロディは『やなせメルヘン 三枚劇場』（1997年、近代文芸社）に一部収録。本連載が単行本化されたものは他に『足みじかおじさんの旅』（2009年、新日本出版社）、『足みじかおじさんの旅 あきらめないで』（2011年、新日本出版社）、『復刻版 やなせメルヘン名作集』（2009年、カザン）があるが、連載全作は網羅されていない。
- 「気まぐれ絵日記49 1月4日～11日（晴）グリム童話を描く会」『詩とメルヘン』1985年4月号、サンリオ、59頁
- 「気まぐれ絵日記240 9月23日（快晴）アンパンマンとアンデルセン展」『詩とメルヘン』2002年1月号、サンリオ、82-83頁

こぼれたパン屑は  
もうなんの役にも  
たたないようにみえる  
でもちいさな虫に  
とってほしかった  
天のおめぐみで  
生きられる



## 利用案内情報

### 開館時間

- 通常期  
午前9:30～午後5:00(最終入館午後4:30)
- 7月20日～8月31日  
午前9:00～午後5:00(最終入館午後4:30)

### 休館日

毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は、その翌日)  
※ただし、3月25日～4月6日 / 4月29日～5月5日  
7月20日～8月31日 / 12月24日～1月7日の  
期間は休館しません。

### 入館料

(2020年12月15日現在)

やなせたかし記念館共通			詩とメルヘン絵本館のみ		
	一般	団体 (20名様以上)		一般	団体 (20名様以上)
大人	700	630	大人	400	360
中高生	500	450	中高生	200	180
小人(3才～)	300	270	小学生	100	90

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持の場合、手帳所持者本人は半額。  
介助者については、1種認定の身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持者に対して  
1名半額。

※企画展開催時は料金設定を変更する場合がありますのでご了承ください。

### 交通案内

〔車〕○高知市中心部より約60分 ○高知龍馬空港より約40分 ○高知自動車道南国I.C.より約35分

〔電車・バス〕○JR土讃線・土佐山田駅のりかえJRバス大栃線で約25分  
〔美良布(アンパンマンミュージアム)〕バス停下車徒歩5分



香美市立  
**やなせたかし記念館**  
アンパンマンミュージアム & 詩とメルヘン絵本館

〒781-4212 高知県香美市香北町美良布1224-2  
TEL:0887-59-2300 FAX:0887-57-1410  
https://anpanman-museum.net



facebook



instagram